

# 耕作放棄地を弥生の田んぼに甦らせる事業

## コケボラ会×農業商工課

### 事業目的

耕作放棄された田を復活させ、「弥生の田」と命名して古代米を無農薬無肥料で栽培する。古代の人々の生活に思いを馳せて多くを学び、できるだけ自然に近い栽培で生物の多様性を守り、子供たちへ古代から続いてきた稲作文化を引き継ぐ。また、郷土の歴史や食と農への関心呼び起こし、多くの人にアシや竹の繁殖力の脅威を認識してもらい、耕作放棄地の解消、農村景観の保全、持続可能な農業の展開に努める。

### 事業内容

耕作放棄地、都会の子供たちと農業交流、田植え、カカシロード創出、稲刈り、収穫祭、活動のパネル展 等

### 事業の様子



アシの根で作った看板



スコップ隊



スコップ隊



資料館で弥生時代の学習





田植え前の泥んこソリレース



田植え（東京の子供たちと交流）



カカシ集結（71体）



アイガモ除草



黒米の稲刈り



はざがけ

## 事業の成果・今後

成果：耕作放棄状態からの脱却による田園景観の更生と周辺農地への病疫影響の削減

耕作放棄状態解消に向けた取り組みを行う者、認識する者への啓発（農地の保全と人の交流、赤米 30 kg無償提供して市内の学校給食で紹介、山木遺跡の再評価と食物を大切に思う心の醸成）

今後も生物多様性を重視した農業の継続、事業産物の将来に向けた活かし方の研究を行う。